

島本町長選挙選挙公報

小さな町の豊かな暮らし

府内ワーストワンから待機児童ゼロを達成！質的向上を図ります。子どもを中心としたまちづくりを起点に、誰もがもっと住みよい町に。持続可能なまちづくりの計画策定に着手開始したため、推進していきます。これまで通り、しがらみのない公平公正な政治を引き続き実現します。

多様性を認め合う住民と行政の協働のまち

- 住民自治の推進
- タウンミーティングなど広聴機会を拡充
- 情報公開、共有、発信を推進
- デジタル化の推進
- 職員の働き方改革を推進

子どもたちを健やかに育むまち

- 教職員の働き方改革を推進
- 子ども食堂への支援を拡充
- 産後ケア事業の推進
- 新教育長のもと保幼小の連携を推進
- ICT環境の整備と活用の推進
- 地域とともにある学校への転換を推進

環境や景観に配慮した持続可能なまち

- 地下水90%の水道を堅持
- 水道事業審議会の設置
- 山林の境界確定による森林整備の推進
- ごみ処理の広域連携の推進
- 景観計画策定、景観条例制定、立地適正化計画策定を推進
- 地域ごとの高さ規制などを推進

誰もが支え合い、生涯元気に暮らせるまち

- 地域包括ケアシステムの強化
- ネットワーク化やアウトリーチ支援を推進
- いきいき百歳体操などの介護予防活動の充実
- 高齢者の社会参加や生きがいづくりを支援
- 障害者地域生活支援拠点施設を中心とした支援体制の充実
- 高齢者等の更なる移動手段確保を検討

災害に強い安全安心なまち

- 職員や住民の防災力を高めるため防災士の取得などを推進
- 個別避難計画などの作成を推進
- 雨水幹線などのハード整備の推進
- 逃げ遅れゼロを目指し、地域の支援機関との連携を推進
- 防災拠点となる役場庁舎建設を推進

魅力と活力、にぎわいのあるまち

- 水無瀬駒、中将棋と「将棋のまち高槻」の将棋連携を推進
- 離宮の水ブランドのリブランディング
- 商店街サミットへの継続支援
- 創業支援補助金制度の検討
- 空き家等の利活用の推進
- 農林業支援を推進

子どもをみんなで育む町の未来
子育て・教育を起点にして、全ての年代が住みやすいまちにつなげます



無所属・町民派
現島本町長
やまだ 36歳

山本 謙一

私たちが推薦しています！

福岡洋一	現茨木市長
平松邦夫	元大阪市長
川口裕	前島本町長
藤原靖彦	元島本町議会議員
牧野久	元島本少年野球協議会会長
野中康子	元島本町立中学校教諭
矢田部佳子	楽楽子ども食堂代表

今後も合併しない選択を！

みなさん！島本町が大変です！！

まずは 町政正常化。

そして ビジョンを描き、選択肢を示す。

4年間、大阪維新の会に所属する島本町議会議員として、町政に関わってきました。まだ1期の政治キャリアしかない私ですが、この間、愛する島本町がボロボロと崩れていく様を目の当たりにしてきました。

町政正常化より先の未来は、住民投票もしくは選挙を通じて、町民の皆様の意志により決めていただく。そんな町政を実現します。

① ゴミ処理ビジョン

ゴミ焼却場は耐用年数から10年も過ぎ、高槻市より3倍も効率が悪い。財政ビジョンを示し、①巨額(50億円とも)をかけて新設、②市に委託などの選択肢を問う。

② 保健所のねじれ解消

島本町は茨木保健所の管轄だが、医師は高槻医師会に所属し、保健所機能と医療現場がねじれ、コロナ対策にも障害がある。府下で唯一の「飛び地」状態を解消する。

③ 消防行政の広域化

防災の要である消防行政は全国で広域化が進み、府下でもその流れが加速。島本消防では、装備調達にも大きなムダがあるほか、消防員の熟練にも広域化は有効。



関西大学卒・元商社マン・元島本町議

塚田 アツシ

【プロフィール】
昭和56年生まれ。39歳。若山台在住。島本町立第二小学校、島本町立第二中学校、春日丘高等学校、関西大学 商学部 卒業。商社勤務を経て起業。衆議院議員(現大阪府議会議員)松浪ケンタ秘書。平成29年より島本町議会議員。

(この公報は候補者から提出された原稿をそのまま写真製版で印刷したものです)

さあ投票 選挙の主役は あなたです

あなたの投票場所はここです

投票場所	投票区域
第一投票所 (尺代公会堂)	大字大沢、大字尺代
第二投票所 (山崎公民館)	山崎一～三丁目・五丁目
第三投票所 (東大寺自治会集会所)	東大寺一・二丁目、山崎四丁目
第四投票所 (二小体育館)	東大寺三・四丁目、若山台一・二丁目、百山、大字東大寺、大字広瀬・大字尺代の一部
第五投票所 (一小体育館)	広瀬一～五丁目
第六投票所 (三小体育館)	桜井二～五丁目、桜井台、大字桜井、青葉三丁目
第七投票所 (一中体育館)	青葉一・二丁目、桜井一丁目、水無瀬一・二丁目、江川二丁目1～14番
第八投票所 (江川集会所)	江川一丁目、二丁目15番1・6・9号
第九投票所 (四小体育館)	高浜一～三丁目、江川二丁目15番45号、16～25番

島本町議会議員選挙 島本町長選挙

投票日は 4月18日(日)

午前7時から午後8時まで



島本の良さを活かす。分岐点は今。コロナ・気候変動・人口減少時代を前に。

応援しています！

- 厚東 隆 (二小・二中元PTA会長)
- 芝 菜津子 (島本町民)
- 千田麻紀 (青葉のパン屋)
- 中島 晃 (弁護士、景観保護)
- 岸本 聡子 (「水道、再び公営化」著者)
- 辻村 英之 (京都大学農学部教授)
- 山森 亮 (同志社大学経済学部教授)

しまもと「水と緑の基本構想」

森林と農地が雨水を含み、水害を防ぎ、地下水の恵みを生み出す

- 町営水道を存続。地下水100%をまちのシンボルに。
- 都市農地や森林は緑の防災として保全活用。風倒木の早期復旧。
- 清掃工場の負担軽減とCO₂削減
- 生ゴミ庭木の堆肥化、リサイクルと分別で徹底的なゴミの減量化。

開発優先は終わりに。緑の防災公園

- 高さ制限によってゆとりの創出と、山並み・歴史景観の保全。
- 島本駅前、水害を防ぐ「緑あふれる防災公園」を2ha以上整備。

住民の想いをまちづくりに反映 直接参加の仕組み

- 「住民投票条例」制定、住民集会、住民公聴会、情報公開の促進

教育者の経験から 子どもたちにゆとりある環境を

- 教員加配で30人学級、一時保育・不登校支援の拡充、自然体験教育

顔の見えるまちだから 声の届きにくい人の声を尊重

- ふれあいバスの2便化、水無瀬駅前に行政・観光コーナー、介護予防や防災・避難で地域との連携、障がい児の総合窓口、居場所づくりに空き家を活用
- コロナなんでも総合窓口、福祉施設へのPCR検査、困窮者への税の減免

町をもっと創造的に 合併はしません

- 町の事業がなくなり、遠くなる消防・水道の広域化はしません。
- 公共施設の更新は、適切な補修で長寿命化。市民公募債の募集。
- ふるさと納税を活用、「水と緑」基金を創設。
- 住民、専門家と共に、防災や歴史など各種分野の計画策定。



想いに応える、あなたとつくる島本

すえおか 友行

38歳 無所属
島本町長候補

幸せに暮らせる町をつくる